

研究課題名	破裂脳動脈瘤の治療後に再破裂を認めた症例の検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院 脳神経外科
研究責任者	所属 脳神経外科 氏名 佐藤洋平
研究期間	(西暦) 2018 年 9 月 ~ 2019 年 3 月
研究の意義・目的	当施設ではくも膜下出血の患者様を多数救急で受け入れております。大半は脳動脈瘤の破裂による出血であり、緊急で脳動脈瘤に対する治療を行っております。しかし時には過去に破裂して治療した脳動脈瘤であるにもかかわらず再破裂してくも膜下出血となる患者様がいらっしゃいます。再破裂前に治療介入することでこのような再破裂を予防できる可能性があり、本研究では再破裂の実態を明らかにすることにより、治療後の脳動脈瘤の経過観察の時期や方法および適切な再治療介入の指針を見出すことを目的とします。
研究の方法 (対象期間含む)	2012年1月から2018年12月までの間に破裂脳動脈瘤が原因となつてもくも膜下出血で来院された患者様が対象となります。過去の診療録から診断名、年齢、性別、これまでの病歴、過去に同じ動脈瘤が破裂して治療を行った患者様に関しては、該当する動脈瘤の場所、初回破裂時の治療法、初回治療から再破裂までの期間、再破裂による症状の変化などの情報を利用します。本研究のために新たな検査を行うことはありません。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	得られた診療情報は担当研究者が本研究に利用することのみを目的とします。この研究の結果は、担当研究者が研究に関連する学会で報告し、関連する分野の学術雑誌に論文として公表する予定です。公表する際には個人が特定できないような形で診療情報を利用します。利用する情報は、診断名、年齢、性別、くも膜下出血の重症度や動脈瘤の場所、大きさ、動脈瘤に対する治療法、退院時の症状やこれまでの病歴です。過去に同じ動脈瘤が破裂して治療を行った患者様に関しては、該当する動脈瘤の場所、初回破裂時の治療法、初回治療から再破裂までの期間、再破裂による症状の変化などの情報を合わせて利用します。本研究に係る情報は研究責任者が管理を行います。
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 脳神経外科 氏名 佐藤洋平 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525